

我が社の地球温暖化防止実行計画

事業所名 伸晃化学株式会社

策定年月日 21年10月

1. 事業内容（特徴）

医薬品容器を主力として一部医療機器・化粧品容器を製造

2. 事務・事業から排出される温室効果ガスの主な要因

当社の事業活動における温室効果ガス排出原因の中で、最も影響の大きいものは電力の使用によるものであり、当社の総排出量の99%を占める。

- ・成形機・印刷機・合理化機械・コンプレッサの稼動
- ・クリーンルーム等の空調負荷
- ・照明設備の使用
- ・パソコン、コピー機、プリンター等OA機器の使用
- ・テレビ、冷蔵庫等の家電機器、自販機の使用

3. 温室効果ガスの削減目標

当社の事業活動におけるエネルギー指標は、生産量と使用エネルギーを相関とするエネルギー原単位を用いる。

（原単位＝消費電力(kwh)／製品化原料(t)とする）

基準期（第75期）：平成19年10月1日～平成20年9月30日

目標期（第78期）：平成22年10月1日～平成23年9月30日

原単位を 10,104 kwh/t から 9,801 kwh/tにする。（3.0%削減）

4. 温室効果ガス削減に向けての主な対策

- ①機器インバータ及びタイマー制御の取付
- ②省エネタイプの照明器具への取替
- ③コンプレッサ運転台数の見直しと共用運転
- ④省エネ型自動販売機の導入
- ⑤全社省エネ活動での改善(省エネシール)
- ⑥環境省が主催する「ライドダウンキャンペーン」等を積極的に参加協力

5. その他我が社の環境対策

(1) コピー用紙使用量の削減

- ①コピー用紙の裏面活用
- ②両面コピー、縮小コピーの活用
- ③PCメールを活用し、紙ベースでの回覧を削減
- ④通達文書は簡潔にまとめ、空白、行間等を工夫し枚数を削減
- ⑤使用済み封筒の再利用を促進

(2) 廃棄物の削減

- ①生産工程や職場から出される排出源での分別徹底
- ②委託管理における排出事業者への指導強化(再資源化品目の増加)
- ③社員へのごみ減量化呼びかけの強化

(3) 環境配慮の製品開発

- ①医薬品容器における廃棄時の減容化実現
- ②環境配慮製品の開発(薄肉軽量化)
- ③設計段階での環境配慮(射出成形ランナー重量低減)

(4) 使用水量の削減

- ①空調設備の更新の際、水冷式から空冷式への転換
- ②水道蛇口に節水コマ使用

(5) グリーン購入の推進

事務備品や消耗品について、エコマーク等の環境配慮商品の購入を推進

(6) 社員への研修

- ①環境意識の向上と環境負荷に対する社員一人ひとりの役割を自覚するために環境教育を行う。
- ②環境での社内コミュニケーションとして、部署ごとに環境ヒアリングを定期的実施する。

問い合わせ

伸晃化学株式会社 管理本部 環境安全部 長谷川 翔哉

TEL 076-267-3235 FAX 076-268-7262

URL <http://www.shinko-ccl.co.jp/>